



T細胞免疫記憶とアレルギー性気道炎症制御

中山 俊憲 博士

千葉大学大学院医学研究院
免疫発生学・教授

平成24年11月16日(金)午後17:00-18:30
健康医科学イノベーション棟8階講堂

講演要旨

「免疫記憶: Immunological Memory」は、ジェンナー以来免疫学が医学に貢献してきた感染症に対するワクチン(予防接種)の作動メカニズムである。インフルエンザをはじめ種々の感染症に対して予防接種が行われ、感染防御に大いに役立っている。さらに、免疫能の上昇を意図したワクチンとして、感染症のみならず、がんに対する治療ワクチンや、免疫能の調節を意図したアレルギーに対するワクチンの概念も提示されている。しかし未だに、有用な免疫記憶を増強させ、有害な免疫記憶(たとえばアレルギー反応を担う記憶Th2細胞など)を抑制するといった免疫記憶の制御法についてはほとんど不明のままである。今回は、免疫記憶についてのレビューと、アレルギー性気道炎症を誘導する“Pathogenic memory Th2 cell”についての研究を中心に紹介する。

問い合わせ先： 免疫学・渋谷 彰 (ashibuya@md.tsukuba.ac.jp)
TEL: 029-853-3281